

# 令和6年度自己評価実践報告書

福島県立いわき光洋高等学校

## I 自己評価の概要

### 1 『学校経営・運営ビジョン』について

(1) 『学校経営・運営ビジョン』 別紙

(2) 教育目標、重点努力事項等作成のねらい

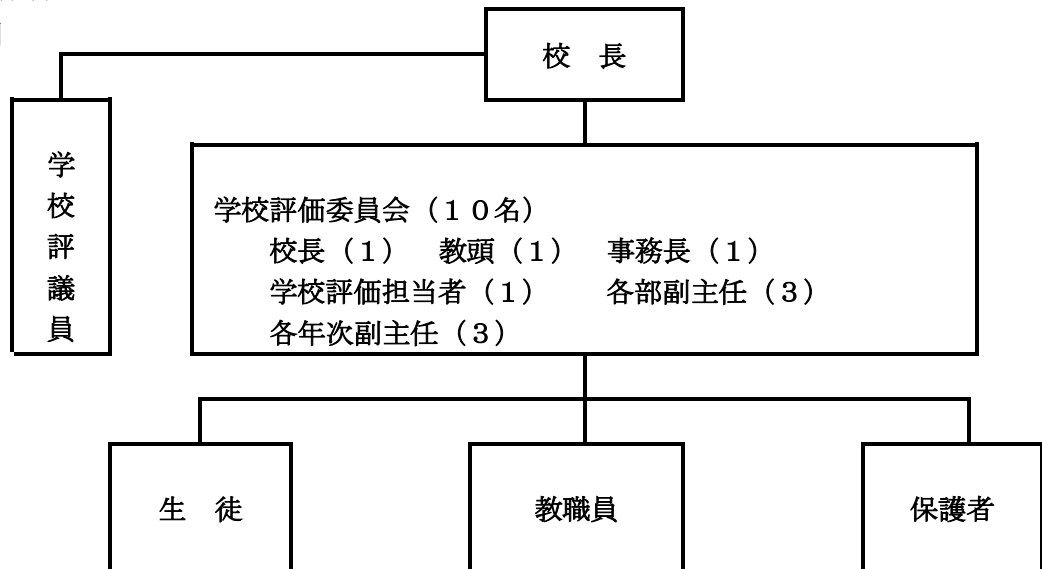
- ① 本校の現状、課題及び教育方針等を踏まえて、各部・各年次・各教科の努力目標及び重点努力事項を作成する。
- ② 具体的な目標の作成に関しては、教職員や生徒が達成可能なものとし、併せて評価しやすい内容になるよう工夫する。

(3) 作成手順

- ① 各部・各年次・各教科の教育活動年度末反省の作成～前年度3月
- ② 教育活動年度末反省を踏まえ、各部・各年次・各教科の教育活動計画作成（努力目標及び重点努力事項、年間活動計画等）～4月上旬
- ③ 教育活動計画を基に『学校経営・運営ビジョン』を作成～4月下旬

### 2 校内組織体制について

(1) 組織図



(2) 組織作成のねらい、意図

- ① 校内組織として校長・教頭・事務長・学校評価担当者・総務部副主任・進路指導部副主任・生徒指導部副主任・各年次副主任の10名で構成される学校評価委員会を設置している。また、地域社会に開かれた学校づくりの推進及び保護者や地域住民などの相互の意思疎通や協力関係を高めるために、外部より学校評議員3名が加わり当該組織の充実を図っている。
- ② 学校評価委員会の委員は、前年度の年度末の反省及び課題等を踏まえ、本校における教育活動の評価・改善策等を検討する。

(3) 学校評価委員会の役割

- ① 学校評価計画（案）作成

- ② 学校評価票（案）作成（教職員用、保護者用、生徒用）
- ③ 評価結果の分析、課題等の集約、改善策の検討
- ④ 学校評価結果の公表（PTA総会、学校評議員会、ホームページ等）

### 3 自己評価年間計画について

#### (1) 年間計画作成のねらい、意図

- ① 学校の教育活動及びその他の学校運営状況についての評価を行う。
- ② 上記の結果を踏まえ、学校運営の改善を図るための必要な措置を講ずる。
- ③ 年間計画に沿った学校評価を実施する。
- ④ PTA総会、学校評議員会、ホームページ等で学校評価に関する情報を公表し、より一層聞かれた学校づくりを推進する。

#### (2) 自己評価年間実施状況

- 4月22日（月）  
職員会議（校長より学校経営・運営ビジョンの提示及び概要説明）
- 4月22日（月）  
学校経営・運営ビジョンをホームページに掲載
- 4月24日（水）  
PTA総会（書面議決）（学校経営・運営ビジョンの説明、学校評価アンケートの協力依頼）
- 7月16日（火）  
第1回学校評議員会
- 11月8日（金）  
第1回学校評価委員会（アンケート調査内容と学校評価計画の検討）
- 11月22日（金）～11月29日（金）  
教職員、生徒、保護者による学校評価アンケート調査の実施
- 12月5日（火）  
第2回学校評議員会
- 2月21日（金）  
職員会議（アンケート結果を全教職員に周知並びに改善策の検討）
- 3月1日（土）  
第3回学校評議員会（年度末評価）

## II 評価結果の概要

### 1 実施時期、実施方法等

評価者	実施時期		実施方法
	中間評価	年度末評価	
教職員	実施せず	11月	アンケート
生徒			
保護者			
学校評議員	第1回 7月16日（火）	協議	
	第2回 12月5日（火）	協議	
	第3回 3月1日（土）	協議	

〈実施における反省及び改善点について〉

- ① アンケートの作成は9月より着手した。これまでの反省を基にして質問内容の精選を行い、回答分析結果がより明確になるように工夫をした。特に学校経営・運営ビジョンに沿って質問項目を生徒・保護者・教員で一致させて比較しやすいようにした。
- ② アンケート結果から指摘された課題及び反省点を2月の職員会議で提示し、各部の年度末反省で改善策を協議した。
- ③ 学校評価の結果を、学校経営・運営ビジョンの目標の設定とその達成のために、どのような手立てによって改善するかが課題である。

## 2 アンケート及び回答数

評価者		対象数	年度末評価アンケート	
			回答数	割合 (%)
教職員		44	44	100.0
教職員以外	生徒	585	540	92.3
	保護者	585	576	98.5

〈実施における分析及び反省について〉

- ① アンケート調査の回答率は、生徒が92.3%であり、昨年度の98.8%より減少した。
- ② 保護者の回答率は98.5%であり、昨年度の96.2%より増加した。
- ③ 教職員の回答率は100.0%であった。

## 3 評価基準について

〈教職員、保護者、生徒〉

評価	A	B	C	D
評価基準	そう思う	多少そう思う	あまりそう思わない	そう思わない

\* 評価基準については、いずれかの回答になるように4段階に分けた。

## 4 年度末評価のまとめ（アンケート結果を踏まえて）

<p>「学校経営・運営ビジョン」で示された光洋の目標</p> <p>ア 単位制の特色を生かし、確かな学力を育みます。</p> <p>イ 自主・自学・自律（三自の精神）の積極的態度を身に付けさせるとともに、豊かな心を育みます。</p> <p>ウ 学校生活全体を通して、明朗でたくましく、心身ともに健全な生徒を育成します。</p> <p>「目標実現に向けた4本の柱」</p> <p>「学力の向上」 「進路目標の実現」 「豊かな心の育成」 「危機に強い学校」</p>
--

### (1) 本校の目標について

目標アの後段（確かな学力）及びイ、ウについては（2）以下で分析することとする。アの前段部分については単位制の特色を生かせず、普通科校との違いを打ち出すことができていないと考える。教育課程、学習指導、生活指導における単位制のメリットを明

らかにした上で、教員の認識を一致させる必要がある。

## (2) 学力の向上について

生徒・保護者はほぼ全ての項目で比較的良好な評価となったが、教員では学習状況への評価は低迷している。特に家庭での学習がまだまだ習慣化されていない現状がうかがえる。定期考査や受験の直前になって慌てるのではなく、低学年から自主的かつ継続的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせなければならない。そのためには学習に対する生徒の意識を変える必要があり、いかに動機付けるか、その具体的方策を早急に講じなければならない。

「ICT機器の活用」の項目については、昨年度に比べ生徒は3.7ポイント上昇、保護者は1.5ポイント上昇しており、今後も1人1台端末やAI等の更なる有効活用について検討していく。

## (3) 進路目標の実現について

生徒・保護者の評価から進路指導部の各種企画は奏功しているようだが、教員の評価と生徒、保護者の評価に乖離が見られる。これは、指導が進路実績に結び付いていないという現状への問題意識の表れである。これを生徒の学習意欲向上につなげ、それぞれの項目が進路目標の実現につながっているかどうか結果を細かく検証し、変革が進む大学入試制度に対応させていくこととともに、進路指導部と各年次との協力を深めていく必要があると考える。そのためには入学から卒業までの3年間を見据えた進路指導計画を全職員で検討、共有することが必須である。すなわち、従来から行われている課外授業の方法・形式、個別指導、小論文指導の在り方、外部講師の活用法などについて再確認し、必要であれば教員向けマニュアルなどの作成も視野に入れるべきである。

## (4) 豊かな心の育成について

昨年度同様、高い評価となり、多くの項目において平均評定が7割となった。特にコロナ禍明けということもあり、年度初めから上級学校訪問、公開文化祭、野球全校応援、球技大会、上級学校訪問、企業訪問といった体験的な行事を数多く実施し、生徒・保護者から高い評価を得た。挨拶や服装指導についても、手を緩めずに継続的に指導していくことが大切であり、例えばフォーマル（本校で定める正装）の着方などについては、高校生らしい姿とはどのようなものか、改めて問い直す必要がある。また、多様な悩みを抱え集団生活に適応できない生徒が増えてきている中、それらの生徒に対するケアや情報交換については学校をあげて組織的に対応していく。

## (5) 危機に強い学校について

4本の柱の中で生徒・保護者・教職員から最も高評価を得ている項目となった。特に「一斉メールやHPの活用、学校間交流など、開かれた学校づくり」においては昨年度に比べ生徒は1.4ポイント上昇して高い評価を得るに至った。今後も引き続きHPの更新頻度や内容の充実を図りながら学校の魅力をアピールしていく。

課題としては、地域に向けて開かれているものの、PTA総会や授業参観への参加者数が少ないので、日程や内容を再検討する必要がある。また、歴史が浅い学校ということもあり、今後は同窓会との協力体制をさらに強固なものとするために、学校側からも積極的に働きかけ、相互に協力して体制の整備を促すことでよりよい関係を築き上げることが大切である。

## Ⅲ 広報の概要

### 1 目的や意図

学校の教育方針、教育目標、校訓、学校経営・運営ビジョン等をPTA総会や学校評議員会、さらにはホームページへの掲載により広く公開するとともに評価結果を公表し、よ

り一層開かれた学校づくりを推進する。

2 実施計画及び実施状況

11月上旬に第1回の学校評価委員会を開催し、前年度の反省を踏まえたアンケートの作成に着手した。

3 配布対象、配布時期、配布方法等

P T A総会で『学校経営・運営ビジョン』について説明した。

学校評議員に対しては、7月の第1回学校評議員会において提示し、説明した。

4 その他

昨年度に続きホームページの活用がめざましく進んだ。内容も更に充実させて、学校の状況を発信できるように努力したい。

IV 次年度へ向けて〈課題事項〉

- ① I C Tを活用した、主体的・対話的な学びに重点を置いた学習体制の確立
- ② 総合的な探究の時間の充実と生徒一人一人の進路実現に向けた組織的な取組
- ③ 生徒の挨拶、服装面での改善
- ④ 部活動の活性化及び働き方改革の推進
- ⑤ 校内美化の推進
- ⑥ ホームページと携帯通信網を利用したさらに開かれた学校づくり
- ⑦ 読書活動の推進